

令和8年度 当初予算

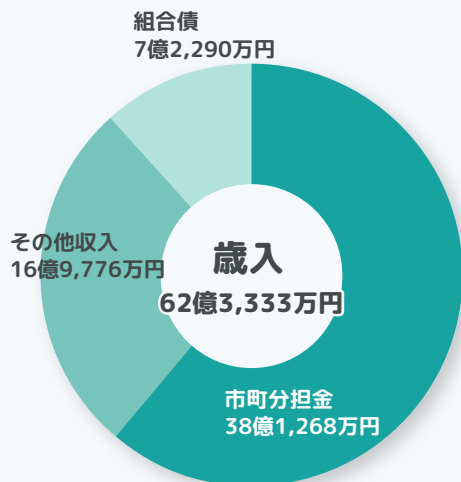
【予算総額】

62億3,333万円

(市町分担金：38億1,268万円)

※1万円未満は四捨五入している。

歳入内訳



※その他収入：使用料及び手数料、国庫支出金、財産収入、諸収入
 ※歳入・歳出の1万円未満は四捨五入しているため、合計と一致しない。
 ※歳出内訳の割合は小数点第2を四捨五入しており、100%にならない。

令和8年度は、引き続き「安心安全な工場運営」、「住民感覚に沿った行財政改革」、「循環型社会の構築に向けた事業の推進」という三つの基本方針のもと、クリーン21長谷山長寿命化事業などの大型事業に継続して取り組むほか、組合市町と連携・協同して、「プラスチック資源」の回収を開始します。また、次期最終処分場の新設に向けた検討を進め、奥山埋立処分地の廃止に向けた取組を継続します。

歳出内訳



1 ごみ処理施設運営や人材育成、広報業務など行政運営



23億2,602万円

37.3%

2 クリーン21長谷山長寿命化含む各工場の改修整備工事等



23億1,021万円

37.1%

3 職員や議員の給料や手当など

9億1,689万円 14.7%

4 負担金や保険料など各種団体へ行政上の目的により交付する経費

2,260万円 0.4%

5 組合債の返済や利子の支払い

6億5,173万円 10.5%

6 基金運用収入の基金への積立

88万円 0.0%

7 予見できない予算不足を補うための経費

500万円 0.1%

令和8年度の主な事業

プラスチックの資源化の推進

従来は不燃ごみとして回収していたプラスチック製品についても、プラマークとあわせて資源として回収し、さらなる資源循環を進めます。



クリーン21長谷山長寿命化事業

本施設を長く安全に稼働させるため、基幹設備を整備・更新し、長寿命化を図ります。また、設備改良によりCO₂排出量の削減などを進め、さらに環境にやさしい施設づくりを目指します。



最終処分場の更新検討

当組合の最終処分場「グリーンヒル三郷山」の埋立進捗率は現在約50%。この状況を踏まえ、次期処分場の整備について検討を進めています。

